

学校の本の数。その差5倍。

ここにも
情報格差



学校図書館図書標準より

jepa 日本電子出版協会（JEPA）の提言

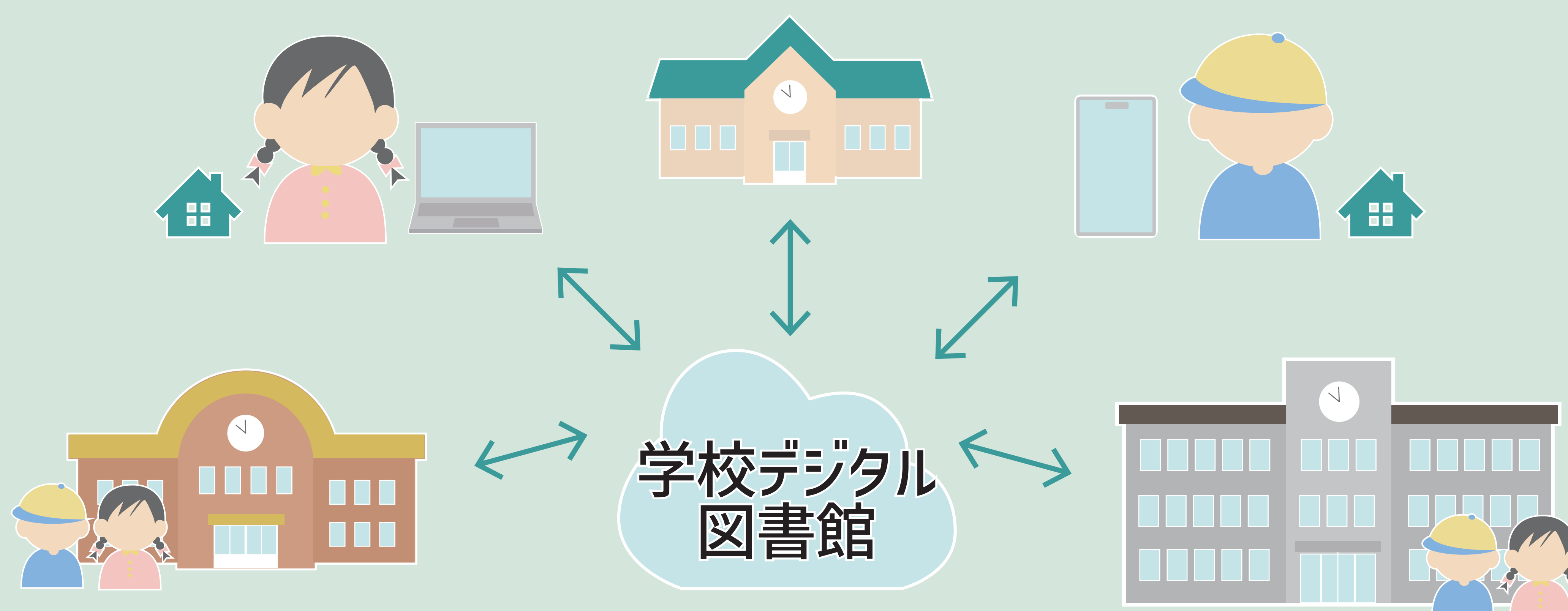
全国の小中学校で使える「学校デジタル図書館」をひとつ。国主導でつくりましょう。

日本電子出版協会では、「学校デジタル図書館」を提言しています。
これが実現するように国や文科省、図書館関係の方々、学校関係の方々、出版社の方々に
働きかけをしています。実現のためには、皆さんの賛同が大きな力になります。

動画をチェック！



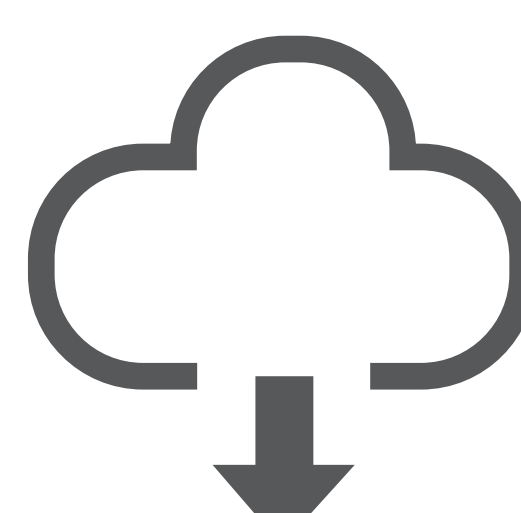
学校デジタル図書館とは？



国がクラウド上に作る唯一の小中学校向けのデジタル図書館です。



小中学校の生徒や先生向けに出版された多様なデジタル本を揃えます。母国語が日本語ではない生徒が読む外国語のデジタル本も揃えます。



学校からも、自宅からも、ネットがつながっていれば、学校の図書館なら閉まっている時間でも、どこからでもアクセスして読むことができます。



離島や山村の小さな学校の生徒も、海外の生徒も、都会の大きな学校の生徒も公平に読むことができます。



デジタルだから教材、電子書籍、辞書、百科事典や地図、郷土資料、外国語の本を横断検索することができます。

<https://www.jepa.or.jp/digitallibrary/>